

安全に農作業を行いたい

クマ被害を減らすために

これからも時期に、来年に向けてしっかりと備えておく必要があります。

今年は干ばつ、鳥による食害、そして管内でのクマによる園地被害が頻発し、「クマ、出でない?」「(J)の前、〇〇でクマが出たりしない」といった会話がかなりの頻度で交わされました。

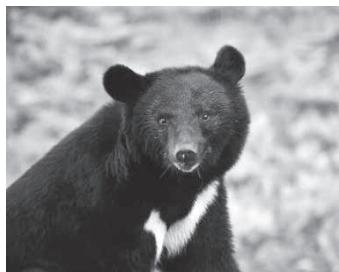
青森県で調査した出没マップを確認すると、県内のほぼ全域でクマの出没が確認されています。前年度の出没件数と比較して、今年の11月までに約4倍に達し、令和5年を上回るペースで歴代最多となっています。

援農でお手伝いをいただいたい企業でも、農作業ではなく選果場での作業を希望したり、クマ鈴やクマ撃退スプレーを持参しながら不安を抱えて農作業に従事した方もいらっしゃいました。



2025青森県クマ出没マップ

参考：青森県ホームページ



クマ出没状況（最新情報）

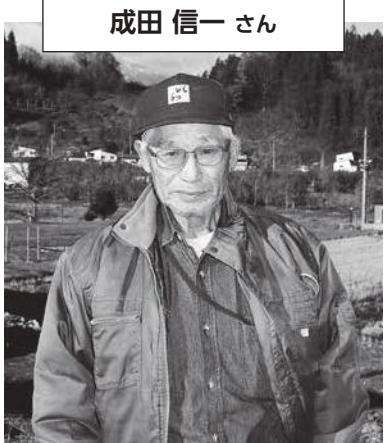
令和7年クマ出没状況等（1月1日～11月24日）

*数値は暫定値となっています。

*目撃地点が異なるが、同一個体と思われる目撃情報が複数含まれています。

項目	本年	前年同期	増減	前年総数
クマ出没件数	2,796	698	+2,098	709
(出没件数のうち) 目撃	2,598	666	+1,932	677
(出没件数のうち) 食害	188	28	+160	28
(出没件数のうち) 人身被害	10	4	+6	4

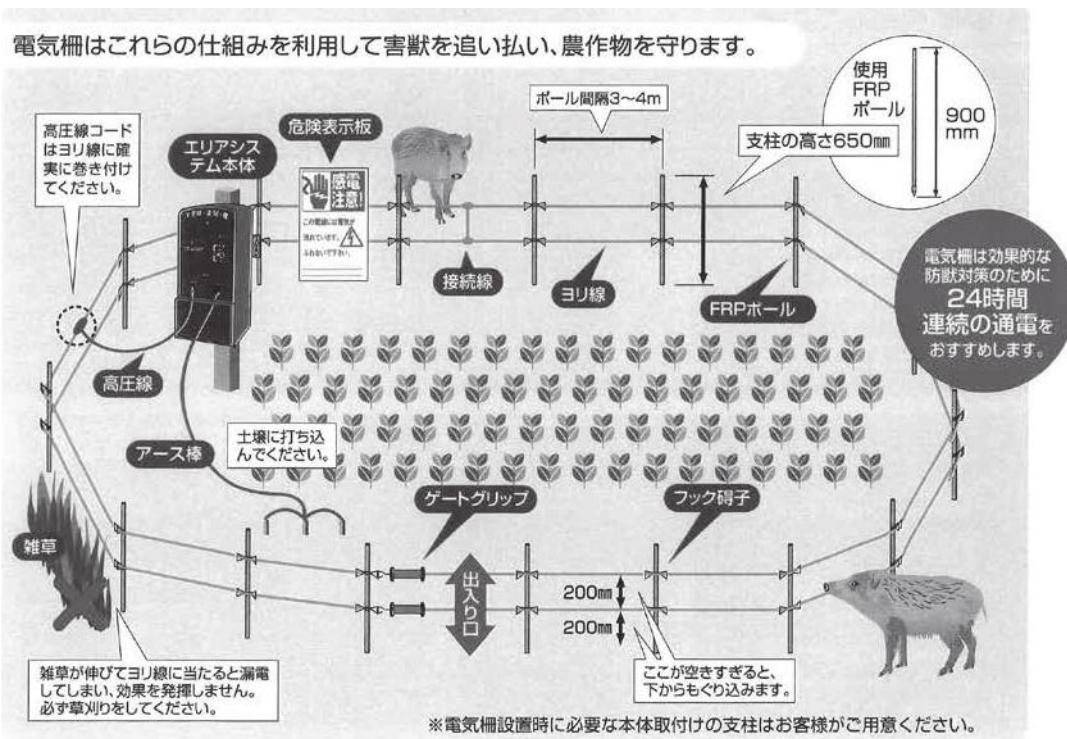
成田 信一さん



農家で相馬ハンタークラブの会長を務める成田信一さんに、今年の異常事態についてお話を伺いました。
昨年は、ブナやどんぐりが豊作であったため、子グマが多数誕生し、生息数が増加したと考えられます。しかし、今年はどんぐりなどが大凶作であったため、普段は臆病なクマが人里に出没する事が発生しました。箱わなにかかるのは子グマが多くたと成田さんは話してくれました。子グマが出没するということは、親グマも近くにいる可能性が高いといえます。そのような状況の中、相馬管内でクマの出現が少なかつた地域があり、そこでは、「電気柵」を用いたクマ対策が実施されていました。

Qなぜ電気柵が有効なのか？

- ① 電気ショックを与え、害獣を追い払い。
- ② 「電気柵は危険」と学習し、近寄らなくなる。
- ③ 電気柵に触れて「痛み」と「学習心理」の効果が慣れを防ぎ、効果を發揮する。



(4)(3)(2)(1)

◆電源供給方法形式
(例) 電気柵
(シカ・クマ対策用)
外周300m(5段)

乾電池
ソーラー電源式
ACアダプター電源式
外部バッテリー電源式
※価格は約14～16万円
※ 購買課で注文できます。

クマは鼻が利くので、落果したリンゴだけではなく、ガソリンやチェンソー油などのにおいを好む傾向があるので、農作業中にクマが近づいてくる可能性がある。
一つの策として、「電気柵」による獣害対策をしてみてはいかがでしょうか。
作業をしている人を守る為、リンゴ畠だけでなく、農

弘前市における侵入防止柵整備事業について

【ケース1】

○補助事業対策者

弘前市内に住所を有し、農業を営む個人または本社若しくは事務所を有する農業を営む法人農業者で組織される団体
○対象農地

販売目的で農作物を生産する弘前市内に存する農地
○対象経費

農地に電気柵や複合柵（電気柵とワイヤーメッシュ柵を組み合わせたもの）を整備するために必要な費用のうち以下の購入費

- ・防止柵資材（送料、設置に係る人件費は対象外）
- ・施行道具（例）ポール打込み用具
- ・安全用品（例）電圧下降警告灯など
- ・収納用品（例）巻取りリール

○補助金の額・補助率

- ・電気柵を整備 上限15万円
- ・複合柵を整備 上限40万円
- ・対象経費支出額の1/2（令和7年度の締切りは終了）

【ケース2】

○整備地域に3戸以上整備事業を受益者がいること。

○電気柵を集落ぐるみで設置する場合、弘前市鳥獣被害防止対策委員会で必要資材を購入し無償で貸与します。なお、設置・撤去・保管に係る作業は受益者が行うこと。

※興味のある方は

農村整備課鳥獣対策係（40-4155）までお問合せください。